

NEW EDUCATION AND TRADITION



スローガン：つなぐ伝統 築こう未来

【教育目標】確かな知性 豊かな感性 健全な心身

発行日：令和7年10月6日(月)
発行者：校長 吉岡 大司

「継続は、力なり」

校長 吉岡 大司

風が少しずつ色を変え、朝の空気に、金木犀の香りがそっと混じる頃となりました。陽射しは、柔らかく、空は、高く澄み渡り、木々の葉は静かに秋の装いを始めています。耳を澄ませば、虫の音が夜の静けさを彩り、夕暮れは日ごとに早まり、空のグラデーションが心を穏やかにしてくれます。季節は、カレンダーの数字ではなく、風の匂いや空の色、肌に触れる空気の温度で語りかけてきます。酷暑が続いた9月を越え、ようやく訪れたこの秋は、まるで長い旅路の果てにたどり着いた安らぎのようです。

さて、そんな秋の深まりの中で、本校の生徒たちは、令和7年度連合陸上大会において、見事な成果を収めました。女子総合は、堂々の第1位、男子総合は、力強く第3位、そして男女総合では、第2位という輝かしい成績を残しました。この結果は、日々の練習に、真摯に向き合い、仲間と励まし合いながら積み重ねてきた努力の結晶です。着実に歩みを進めてきた本校は、「継続は力なり」を体現しています。校庭を駆ける足音、仲間を応援する声、ゴールを目指すまなざし。それら一つひとつが、学校全体に活気と誇りをもたらしてくれました。生徒たちの健闘は、桜堤中の絆と可能性を改めて感じさせてくれるものであり、私たち教職員にとっても大きな励みとなっています。

また、10月1日(水)の生徒会役員選挙の演説会で、私は、次のような話しをしました。

今日の生徒会役員選挙は、桜堤中の未来を動かす、特別な一日です。

皆さんの心の中にある「こうしたい」「もっと良くしたい」という思いが形になる日でもあります。選挙の度に、私の頭に浮かぶのが、元アメリカ合衆国大統領ジョン・F・ケネディの言葉です。「国民一人ひとりが、他力本願にならず、人任せにせず、自分たちの未来を切り開くために、自分自身が、何をすべきかを考えてほしい」というメッセージです。この言葉は、まさに今日の皆さんに向けたものだと思います。「誰かがやってくれる」ではなく、「自分も関わる」という姿勢が、桜堤中をより良くする力になります。今回、立候補してくれた7人の仲間たちは、その思いを胸に、勇気を出して一步を踏み出しました。その姿は、まさに桜堤中の未来を背負うリーダーの姿です。

私は、その勇気に、心から拍手を送りたいと思います。

さて、10月25日(土)には、文花祭を開催いたします。どの生徒も力を十分に発揮し、きらきらと輝くことでしょう。当日は、生徒達や保護者の皆様にとっても、「芸術の秋」を満喫する1日になることを願っています。その成功のためには、一つひとつを、ただやるのではなく、「心に残るもの」にするために皆の力が必要です。その中心に立つのが、今日選ばれる会長を中心とした生徒会役員です。

この桜堤中を、もっと素敵な場所にするために、心を込めて、真剣に選んでください。また、応援者の皆さんにも、感謝しています。誰かを応援することは、簡単なようでいて、とても尊い行動です。相手の良さを見つけ、声をあげて支える姿勢は、桜堤中の誇りです。そして、選挙管理委員の皆さん、準備・運営ありがとう。現生徒会の皆さんも、引き継ぎまで、よろしく。

最後に、この学校をつくるのは、先生でも、立候補者でもなく、皆さん自身がつくるものです。今日の一票は、未来への約束です。「誰かに任せる」のではなく「自分も関わる」という決意の一票として心を込めて、投票してください。そして、選ばれた仲間とともに、これからの桜堤中を、みんなで創っていきましょう。桜堤中の未来は、皆さんの手の中にあります。と伝えました。期待しています。

結びに、令和7年度の前期も全校生徒513人が、安全・健康に過ごすことができました。

これは、日頃より、地域や保護者の方々の温かい見守りや声かけによって、大きく成長できたのだと感じています。あらためまして感謝申し上げます。